

令和 2 年度事業報告

社会福祉法人 本庄ひまわり福祉会

社会福祉法人 本庄ひまわり福祉会

令和2年度事業報告 目次

I 本庄ひまわり福祉会事業概要	1
II 本庄ひまわり福祉会 本部事務局	2
III 障害福祉サービス事業所(生活介護) ひまわり	6
IV 指定特定相談支援事業 ひまわり	 12
V 指定障害者支援施設(施設入所支援・生活介護・短期入所) ひまわり自立支援センター	 15
VI 生計困難者に対する相談支援事業	24
VII 指定障害福祉サービス事業所(共同生活援助) ひまわりのいえ	25
VIII 障害者地域活動支援センター(本庄市より受託事業) デイケアひまわり	28

I 本庄ひまわり福祉社会事業概要

1 基本理念

- (1) 支援を必要としている方に対して適切な支援を行います
- (2) 安全で快適な生活を提供します
- (3) 利用者の人権と主体性を尊重します
- (4) 利用者を地域社会の一員として尊重します（社会人として）

2 事業方針

社会福祉法人に求められる社会への貢献を目指し、事業運営の透明性の向上及び財務規律の強化等、自立的で安定した事業経営を行い、地域共生社会に向けて利用者の自立を目指した支援を行います。

今年度は重点方針として、危機管理と利用者の健康と安全を守る取り組みを実施します。

3 運営方針

『基本理念』に基づき、利用者の思いや願い及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、利用者がその人らしい自立した生活（豊かな生活）を送ることができるように支援を行います。利用者が健康で明るく、安全で安心な生活を送ることができるように努めます。また、支援者は豊かな人間性を培い、個々の利用者のニーズに応じた良質なサービスを提供します。

4 事業所一覧

本庄ひまわり福祉社会事業所一覧表

令和3年3月31日現在

名 称		種 別	利用定員（人）			所 在 地
			入 所	短期 入所	通 所	
本部事務局			－	－	－	本庄市今井1037-1
ひまわり 自立支援センター		障害者支援施設 (入所・生活介護)	52	2	－	本庄市今井1037-1
ひまわり		障害福祉サービス事業所 (生活介護)	－	－	30	本庄市牧西1258
ひまわりのいえ	ことぶき	グループホーム	6	－	－	本庄市寿2-6-28
	ふじた	(共同生活援助)	7	－	－	本庄市牧西1126-6
デイケアひまわり		障害者地域活動センター	－	－	19	本庄市いまい台2-43
工房ひまわり畑 (ひまわりショップ)		※地域交流 販売所	－	－	－	本庄市銀座1-1-1 市民交流プラザ内(1F)

※デイケアひまわり(本庄市からの受託経営) ※工房ひまわり畑(手作りお菓子の販売、はにぼんグッズの販売受託等)

Ⅱ 社会福祉法人本庄ひまわり福祉会 令和2年度 事業報告

1 本部事務局

社会福祉法人に求められる社会への貢献を目指し、事業運営の透明性の向上及び財務規律の強化等、自立的で安定した事業経営を行い、地域共生社会に向けて利用者の自立を目指した支援を実施しました。今年度は重点方針として、危機管理と利用者の健康と安全を守る取り組みを実施しました。

(1) 理事会・定時評議員会の開催

1)理事会

	開 催 日 等	決 議 事 項
書 面	1 日時 令和2年4月 20 日(火) 決議省略(書面) ※緊急事態宣言発令のため	1 令和元年度補正予算(案)の承認について 2 令和2年度事業計画及び予算(案)の承認について 3 社会福祉充実計画の進捗状況について 4 臨時評議員会召集の決定について 臨時評議員会の決議の省略及び報告の省略により行うことを各評議員に提案するもの
第 1 回	1 日時 令和2年6月 30 日(火) 13:30~15:50 2 会場 ひまわり工房畑 3 出席理事・監事 理事総数 6名(内 6名) 監事総数 2名(内 1名)	1 令和元年度事業報告(案)の承認について 2 令和元年度会計報告(案)及び社会福祉充実計画(案)の承認について 3 定款変更(案)について 4 就業規則及び給与規程(案)の改定について 5 グループホーム運営規程(案)について 6 定時評議委員会召集の決定について 7 その他 1)理事長・業務執行理事の職務執行状況の報告
第 2 回 (書 面)	1 日時 令和3年3月12日(金) 決議省略(書面) ※緊急事態宣言発令のため	1 令和2年度補正予算(案)について 2 令和3年度事業計画(案)及び予算(案)について 3 障害福祉サービス事業所「ひまわり」運営規程の改定(案)について 4 就業規則及び給与規程の一部改訂(案)について 5 役員改選(案)について 6 臨時評議委員会召集の決定について

2)評議員会

	開催日等	決議事項
書面	1 日時 令和2年4月30日(木)	1 令和元年度補正予算(案)の承認について 2 令和2年度事業計画及び予算(案)の承認について 3 社会福祉充実計画の進捗状況について
定時	1 日時 令和2年7月14日(火) 13:20~15:15 2 会場 ひまわり地域交流センター 3 出席評議員 評議員総数7名(内 5名) 業務執行理事2名 監事総数 2名(内 1名) 事務局 2名	1 令和元年度計算書類並びにそれらの附属明細書の承認について 2 社会福祉充実計画の承認について 3 定款変更について 4 就業規則及び給与規程の改定について 5 グループホーム運営規程について
第2回(書面)	1 日時 令和3年3月29日(月) 決議省略(書面) ※緊急事態宣言発令のため	1 令和2年度補正予算(案)について 2 令和3年度事業計画(案)及び予算(案)について 3 障害福祉サービス事業所「ひまわり」運営規程の改定(案)について 4 就業規則及び給与規程の一部改訂(案)について 5 役員改選(案)について

3)監事会

開催日等	決議事項
1 日時 令和2年5月28日(火) 13:30~16:00 2 会場 センター相談室 3 出席監事 監事総数 2名(内2名)	1 令和元年度事業報告等の監査 2 令和元年度計算関係書類及び財産目録の監査

(2)事業の進行管理

1)部署長会議の開催

毎月1回、部署長会議を開催し、各施設の利用者状況や課題等の情報交換を実施し、管理者会議において検討課題等提示し事業運営の推進を図った。

2)管理者会議の開催

毎月1回、管理者会議を開催し、事業計画に基づく事業運営の進捗状況や課題及び各委員会の報告、各施設・事業所の利用者状況等報告、検討し、改善に向けた施策を推進した。

3)巡回指導の実施

必要に応じて、各施設及び事業所の職員会議に出席し、支援内容や運営に関する助言等を実施した。

4)社会福祉充実計画4か年度目の適切な運営・管理

社会福祉充実計画のひまわりのいえ「ふじた」建設工事完了。

令和2年8月1日開所、体験入居受入開始し、コロナ禍の開所となり入居者の受入計画に支障があった。

(3)人材管理

1)職員定着と確保

職員採用説明会実施 法人ホームページに募集要綱等掲載

○令和3年4月の新採用職員5名確保した。

2)研修

外部研修（本部事務局）

研 修 名	研 修 日	受講者
安全運転管理者講習	10月26日	1名
令和2年度財務管理担当者研修 Aコース	11月30日	1名
令和2年度財務管理担当者研修 Bコース	12月15日	2名

3)福祉サービス苦情相談第三者委員会

第三者委員会の開催前に委員が施設を訪問し、日常的な状況を把握し、利用者、職員から状況の説明や意見を聴取した。

4)専門家による適正な労務管理指導の継続

ロア・ユナイテッド法律事務所主催のセミナーに参加し、就業規則や給与規程等が法令や通達・判例等に抵触しないよう改定を実施した。

5)各部門会議及び会合の主催

毎月1回、危機管理委員会を開催した。

(4)広報事業

『ひまわり通信の発行』 年／4回(1800 部)

親の会の活動を協力会員に知らせる以外、広く地域に配布し障害者への理解やボランティア等の情報の提供を実施した。

(5)ボランティアの育成事業

社会に対する基本姿勢として、法人の全体行事の「ひまわりフェスティバル」の他各事業所は利用者の作業や旅行、理容等の行事にボランティアを積極的に受け入れ利用者との交流を深めた。

(6)児玉郡市の福祉事業に対する協力

- 1)本庄市障害支援区分認定審査会への委員派遣(鈴木総合副施設長)
- 2)児玉郡市自立支援協議会への委員の派遣(本名総合施設長)
- 3)本庄市社会福祉協議会理事の派遣(高梨所長)
- 4)自立支援協議会相談支援部会部会長(田草川課長補佐)

(7)外部研修の実施

- 1)強度行動障害支援者養成研修(基礎)の実施(埼玉県認定研修)

Ⅲ 障害福祉サービス事業所(生活介護) ひまわり

令和2年度 事業報告

令和3年3月 31 日

施設長 新井弘範

1 基本方針

本庄ひまわり福祉会の基本理念に基づいて、利用者ひとりひとりを尊重し、個性や特性に応じた生活支援や作業支援を行い、地域の中で生きがいのある充実した生活が送れるよう支援を提供します。

(1)利用者ひとりひとりの主体性を尊重し、その人らしい楽しみのある生活が送れるよう支援します。

(2)家族や地域の保健・医療・福祉関係機関と連携を図り、地域の一員として社会参加を支援します。

2 利用者状況

(1)定員と現員及び年齢構成

<定員 30 名 現員 29 名 ※令和2年度 新規利用者 0 名 退所者 0 名>

性別 \ 年齢	20 歳未満	20 代	30 代	40 代	50 代	計
男	0	5	4	4	1	14
女	0	2	11	2	0	15
計	0	7	15	6	1	29

(令和3年3月 31 日現在 平均 35.9 歳)

(2)障害支援区分状況

性別 \ 区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	計
男	0	0	2	5	5	2	0	14
女	0	0	1	5	4	5	0	15
計	0	0	3	10	9	7	0	29

(平均支援区分 4.69)

(3)療育手帳

性別 \ 手帳	Ⓐ	A	B	C	計
男	8	6	0	0	14
女	8	7	0	0	15
計	16	13	0	0	29

(4)身体障害者手帳

性別 \ 等級	1等級	2等級	3等級	4等級	5等級	6等級	計
男	1	0	1	1	0	0	3
女	0	2	0	1	1	0	4
計	1	2	1	2	1	0	7

(5)健康管理

日頃から利用者の健康観察を行ない、家族と連携を図り疾病の早期発見、早期治療に努めた。

1)入退院状況 2名

令和2年 7月20日～ 令和2年 8月27日 直腸癌の手術のため

令和2年12月 4日～ 令和2年12月12日 頸椎症の手術のため

2)通院状況(家庭からの報告に基づく) 44 医院・クリニック

藤岡総合病院	深谷赤十字病院	斉藤内科医院	堀川病院
根岸医院	本庄総合病院	清水クリニック	中沢皮膚科
江川歯科	皆光園(歯科)	中村外科医院	佐々木病院
服部クリニック	やない歯科	松本産婦人科	そのべ医院
群馬大学医学部 付属病院	清水クリニック (東京・高円寺)	本庄皮膚科 形成外科医院	帝京大学医学部 付属病院(眼科)
角田病院	外山皮膚科	石川医院(耳鼻咽喉科)	くげづか診療所
岡病院	白倉クリニック	小暮医院	富永クリニック
神原記念病院	土尾内科クリニック	石井皮膚科	西熊谷病院
吉沢病院	静岡神経医療センター	くぼた医院	田所医院
千田医院	鈴木クリニック(内科)	金子医院	大関医院
高野眼科	木原医院	荻野歯科クリニック	坂本歯科

3 利用者支援

基本方針に基づき、以下の支援を実施した。利用者一人ひとりの特性に応じた個別支援計画を作成した。それに基づき職員間で統一した支援に取り組み、利用者の日常生活力や社会生活力の向上に努めた。

日中活動においては、利用者の能力や適性を踏まえ、複数の活動内容を準備し、利用者自身に選択してもらう機会を作り、主体的な参加を働きかけた。

(1)作業活動(毎週月～金曜日午前)

1)活動内容

	利用者数	活動内容
食品グループ	11	コーヒー作業(生豆の自家焙煎、計量、袋詰め、ラベル貼り、納品準備、配達等) 焼き菓子製造作業(マフィン・パウンドケーキ・クッキーなどの製造、袋詰め、ラベル貼り、納品準備、配達等)
缶グループ	18	缶の回収・分別・缶つぶし、運動、ドライブ、園芸等

2)作業奨励金支給状況 (単位:円)

	令和2年度
年間総支給額	592,000
年間平均支給額	20,413

(2)販売活動

- 1) はにぼんプラザ内ショップでの販売
- 2) 外部及び法人内他事業所等への委託販売
- 3) 民生、児童委員(藤田仁手地区)の会合に合わせたの菓子販売
- 4) コーヒーの注文販売(市内在住の方への定期配達、個別販売)

地域の住民に事業所のことを知ってもらうため販売活動を行ってきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、高齢者施設や外部イベントでの販売は自粛せざるをえなかった。

(3)その他の活動

種別	内容
1) 運 動	ウォーキング、体操
2) クラブ活動	陶芸(土捏ね、作品作り、釉掛けなど) 室内活動(音楽や映画のDVD鑑賞美術・貼り絵、塗り絵、工作など) 屋外活動(散歩、ドライブなど)
3) 生活活動 (毎週木曜午後)	利用者の日直等施設内での役割分担 作業班ミーティング、嗜好調査、個別面談、行事等についての希望 防災学習(防災訓練、避難訓練)、保健衛生(熱中症予防、感染症等についての学習)など

(4)年間行事実施状況

新型コロナウイルス感染症予防のため、施設行事も大幅に自粛した。その中で感染症対策を講じ、利用者が楽しめるものを工夫して提供した。

月	主 な 行 事
4月	お花見ドライブ(深谷パティオ方面)
5月	防災訓練(火災想定自主訓練・水消火器訓練) 利用者面談
6月	水害時想定避難訓練
7月	健康診断
9月	防災訓練(総合防災訓練) ひまわり(施設内)祭り 利用者面談
10月	内科検診・インフルエンザワクチン希望者接種
11月	蕎麦打ち体験・試食会(さいたま蕎麦打ち倶楽部)
12月	クリスマス会
1月	初詣(華蔵寺) 新年会(施設内) 利用者面談
2月	節分
3月	防災訓練(火災想定自主訓練・水消火器訓練)

(5) 地域交流

1) 地域との交流

月	内 容
9月	藤田小学校 資源回収
12月	障害者アート展(さいたま市・埼玉県立近代美術館)出展 本庄市障害者作品展 出展 アートセッション in 本庄 出展

2) ボランティアの受入れ

受入人数	主 な 内 容
12人	そば打ち体験(さいたま蕎麦打ち倶楽部北本道場)

3) 見学の受入れ

受入人数	受 入 れ 先
2人	深谷はばたき特別支援学校生徒・保護者

4) 特別支援学校利用体験実習受入れ

学年	受入れ人数	受入れ延べ日数
高等部2年	1人	2日
高等部3年	2人	9日

4 施設設備の維持管理

定期的な建物・設備の点検を実施し、改修・補修の必要性が生じた時には速やかに対応し、利用者が快適に過ごせるように整備を行った。毎週金曜日の午後は利用者・職員で施設内の清掃を行うほか、除草や園芸活動を行ない環境美化に努めた。

月	内 容
4月	公用車 冬用から夏用タイヤへ交換
5月	アルミ缶置き場改修、公用車定期点検、害虫駆除
6月	ひかり回線工事
7月	厨房機器保守点検、オゾン消毒機設置、公用車定期点検 食堂西側網戸設置
8月	床清掃
9月	施設内の樺の木の新定、消防設備点検、火災感知器の移設、 火災報知機のバッテリー交換、厨房機器保守点検
10月	公用車定期点検、玄関前車寄せ天井修理
11月	害虫駆除、床清掃
12月	公用車定期点検 冬用タイヤへ交換
1月	作業室網戸設置
2月	公用車定期点検、厨房機器保守点検 職員室・男子トイレ・廊下の水道修理
3月	床清掃

5 利用者等のニーズの把握

ひまわりでの過ごし方、作業や年間行事への意見や要望を利用者から徴収し、施設運営に反映するようにした。また、生活に必要なマナーや知識を学習する機会を作り、利用者の社会生活に必要な力が向上するように働きかけた。

定期的に利用者と職員との個別面談の機会を設け、利用者ひとりひとりのニーズを把握し、個別支援計画に反映した。

6 危機管理

(1) 事故報告およびヒヤリハット報告を分析し、事故防止に努めた。

(2) 建物内の状況を整備するとともに定期的に点検を行なった。

(3) 消防署の指導に基づき防災訓練を行い、利用者・職員の防災への意識の向上に努めた。火災や地震だけでなく、水害時を想定した避難訓練も実施した。実施後、より安全な避難経路への見直しを行った。

7 人材育成

研修計画に基づき、各職員の経験や職務内容に沿った研修への参加を行った、職員の専門性の向上を図った。

(1) 内部研修

研 修 名	実施日	参加人数
業績評価研修(法人内研修)	10月14日	1名
権利擁護研修(施設内研修)	1月26日(令和3年)	6名

(2) 外部研修

研 修 名	実施日	参加人数
埼玉県社会福祉協議会	10月5日・12日	1名
キャリアパス チームリーダー研修	10月9日・16日	1名
安全運転管理者等講習	10月14日	1名
埼玉県発達障害福祉協会 緊急施設長会議	1月26日	1名
サービス管理責任者等基礎研修	11月・12月 2月17日・24日・25日	1名
埼玉県社会福祉協議会 職場研修担当者のための研修	2月27日	1名
強度行動障害支援者養成講習 基礎研修	2月9日・3月9日 2月16日・3月18日	1名 1名
埼玉県社会福祉協議会 摂食・嚥下研修会	3月9日～22日	全職員

IV 指定特定相談支援事業 ひまわり

令和2年度 事業報告

令和3年3月31日
管理者 田草川 貴

1 基本方針

- (1) 指定特定相談支援事業所として、利用者主体の福祉サービスが提供されるよう各市町村や関係機関と調整を行なう。
- (2) アセスメントや計画の作成及びモニタリングをとおして、対象者に対して定期的な聴き取りを行ない、希望されている生活に沿った福祉サービスが受けられるよう努める。
- (3) 相談支援サービスの提供を行なうことで、地域ニーズの把握と利用者の確保に努める。

2 利用者状況

- (1) 18 歳未満の方を除く知的に障害のある方を対象とした。

- (2) 利用者(契約者)状況は以下の表通りである。

利用者(契約者)状況(令和3年2月 26 日現在)

市区町村名	利用者数	市区町村名	利用者数
本庄市	23	越谷市	1
深谷市	10	さいたま市大宮区	1
北本市	4	さいたま市西区	1
上尾市	3	さいたま市見沼区	1
熊谷市	3	坂戸市	1
上里町	2	白岡市	1
春日部市	2	草加市	1
さいたま市岩槻区	2	鶴ヶ島市	1
鴻巣市	1	新座市	1
朝霞市	1	羽生市	1
加須市	1	和光市	1

合計(22 市区町村) 63 名

3 事業報告

基本方針に基づき、以下の事業を実施した。

(1) サービス等利用計画案及びサービス等利用計画の作成

1) サービス等利用計画およびモニタリング報告書の作成にあたり、本庄市や他の援護機関、サービス提供事業所と必要に応じた連絡・調整を行なった。

<サービス等利用計画・計画案及びモニタリング作成件数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画案・ 計画作成	3	4	0	2	0	0	1	5	0	3	14	4	32
モニタリ ング	3	5	12	11	4	6	6	5	9	10	11	1	82
合 計	6	9	12	13	4	6	7	10	9	13	25	5	119

2) セルフプランでサービス等利用計画を作成していた2ケースについて、本人、保護者また関係機関と調整を行ない、計画の作成を請け負うため契約を行なった。

3) 令和3年3月末で特別支援学校を卒業し、4月より本庄市内の通所の生活介護事業所や就労継続B型事業所へ通所する方の3名の計画作成を請け負った。

(2) サービス担当者会議の実施

1) より本人の希望に沿った生活を実現させるため、サービス担当者会議を可能な限り実施し、本人の意向を計画に反映させられるよう努めた。

(3) 他相談支援事業所との連携

1) 法人内で請け負っていたケース1件の対応を本人の希望を踏まえ、他の相談支援事業所へ依頼した。

2) 毎月一度おこなわれる児玉郡市障害者自立支援協議会の専門部会である相談支援部会へ参加し、部会長の選任を受け行政機関と連携を図り、地域の相談支援事業所の相談員と情報交換や課題についての意見交換を行なった。

3) 障害者支援施設ひまわり自立支援センターへ入所している利用者1名について、以前から希望のあった自宅近くのグループホームへの入居が先方より可能となったと連絡があったため、4月1日付での移行にむけて必要な調整を行なった。

(4) その他

1)新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、人との接触を避けるため会議等は実施を見合わせたり、計画の見直し等のモニタリングについても電話での聴き取りを中心に行なった。

2)障害者支援施設ひまわり自立支援センターへ入所している利用者1名の保護者の意向を受け、保護者の心身の状況を考慮し後見人の選定を行なうこととなり、後見人の情報提供や仲介を行なった。

3)相談支援事業を行なう環境を整え、年度の後半には旧JA藤田(ひまわり地域活動センター：仮称)の建物内で業務が行なえるよう関係資料や必要物品等を移動した。環境を整えることで、少しずつ兼務で行なっている職員が集まって業務を行なうことができるようになり、連絡や確認がより円滑に行なえる体制作りを進めた。